



# Mac Mini Late 2012のデュアルハードドライブ キットのインストール

Mac Mini Late 2012の2つ目のハードドライブをインストールしましょう。

作成者: Andrew Optimus Goldheart



## はじめに

このガイドを使ってMac Mini Late 2012のiFixitのデュアルハードドライブキットをインストールしましょう。

### ツール:

- [T6トルクススクリュードライバー \(1\)](#)
- [スパッジャー \(1\)](#)
- [T8トルクスネジ用ドライバー \(1\)](#)
- [Mac mini ロジックボード取り出し用ツール \(1\)](#)

### 部品:

- [Mac Mini Dual Hard Drive Kit \(1\)](#)
- [250 GB SSD \(1\)](#)
- [500 GB SSD \(1\)](#)
- [1 TB SSD \(1\)](#)

## 手順 1 — ボトムカバー



- ボトムカバーのくぼみに親指を当てます。
- ボトムカバーの白い点がアウターケース上の輪印に揃うまでボトムカバーを反時計回りに回します。
- ① 回しているときに強く押さえる必要はありません。

## 手順 2



- アウターケースからボトムカバーが外れるようにminiを傾けます。
- ボトムカバーを取り外します。

## 手順 3 — ファン



- アンテナプレート付近のファンをロジックボードに固定している2つの11.3 mm T6トルクスネジを外します。

## 手順 4



- RAMに一番近い所のファンの耳を持ち上げ、アウターケースに固定されているスタンドオフから取り外します。
- ⓘ ファンを取り外すためにスタンドオフネジを外す必要はありません。スタンドオフネジから外すようにファンを持ち上げるだけです。

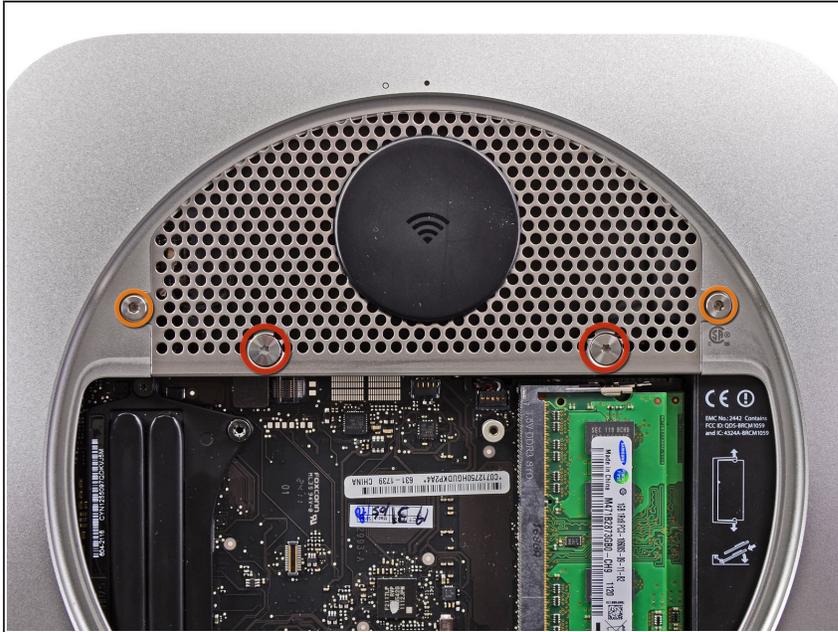


## 手順 7



- アンテナプレートに一番近い端からカウリングを持ち上げます。
- カウリングをアウターケースから外れるように回してmini本体から外します。

## 手順 8 — アンテナプレート



- 下記のアンテナプレートを固定している次のネジを外します：
    - 2本の6.6 mm T8 トルクスネジ
    - 2本の5.0 mm T8 トルクスネジ ( スクリュードライバーでも可 )
  - 再組み立ての際には：
- ⓘ アンテナプレートを正しい位置に装着しなければ、ハードディスクドライブを正しい位置で固定するのが難しくなります。ネジの穴がハードドライブ上のネジ穴に揃わない場合、ハードドライブ裏の2つのピンがケースの裏、セカンドハードディスクのハウジング上の穴にきちんと入っているか確認してください。
- ★ アンテナはハードドライブ ( 赤印 ) に直接取り付けられているため、アンテナの取り付けがハードドライブを動かしロジックボードとのケーブル接続を緩める事があります。

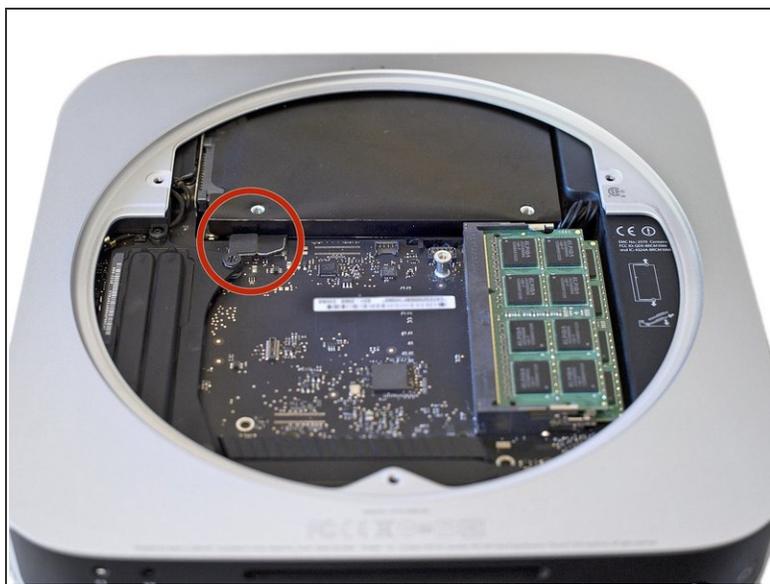
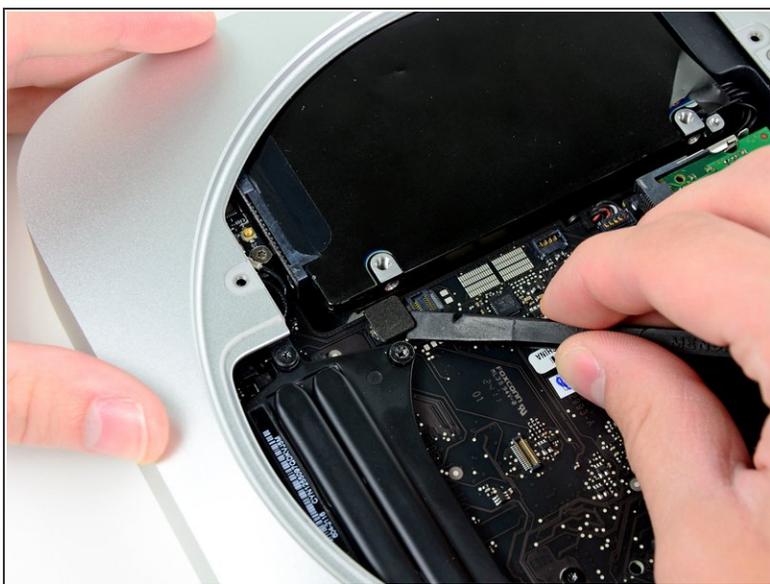


## 手順 11



- アンテナプレートをmini本体から取り出します。

## 手順 12 — ロジックボード



- スパジヤーの平坦側を使って、ロジックボード上のソケットからハードドライブコネクタを持ち上げます。

## 手順 13



- スパッツァーの先を使って、IRセンサーコネクタをロジックボードのソケットから持ち上げます。

⚠ ソケットの下ではなくワイヤの下を持ち上げるように注意してください。

## 手順 14



- 下記の3つのネジを外します：
  - 1つの5.0 mm T8 トルクスまたは2.0 mm 六角ネジ ( スクリュードライバーでも可 )
  - 1つの16.2 mm T6トルクスネジ
  - 1つの26 mm T6スタンドオフネジ

## 手順 15



**⚠** ロジックボードを取り外すには、Mac mini Logic Board Removal Tool の2本の筒型の棒を赤でハイライトされた穴に挿入しなければなりません。それ以外の基板上の穴に工具を入れると故障を招く事があります。

- [Mac Mini Logic Board Removal Tool](#) を赤でハイライトされた穴に挿入してください。工具が基盤の下のアウターケースに到達しているか確認してください。
- 慎重に工具をI/Oボード側に引っ張ります。基板とI/Oボードアセンブリはアウターケース外側にわずかに動きます
- ⓘ I/Oボードがアウターケースから分離されているのが確認できたら、作業を止めてください。
- Mac mini Logic Board Removal toolを取り出します。



## 手順 18 — ハードドライブ



- ハードドライブを本体の前面から引き出しアウターケースから取り外します。
- ① 再組立ての際、ハードドライブ内側の辺にはケースにはまる2つのピンがあります。穴はゴム製グロメットで囲まれており、ハードドライブが正しく設置されたか分かりにくいことがあります。
- ① ケースには2組の穴があります。ピンをケースの底に近い方の穴に差し込みます。

## 手順 19 — 電源ユニット



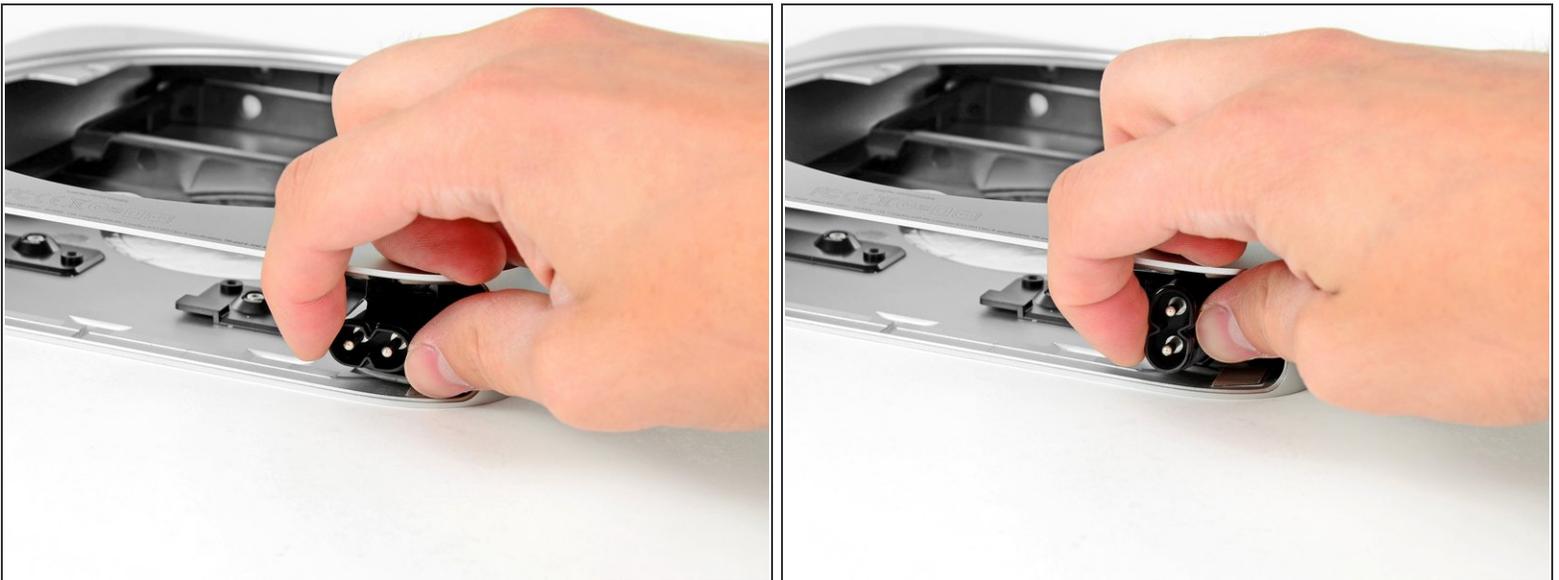
- 電源ユニットとハードドライブトレイをアウターケースに固定している7.9 mm T6トルクスネジを取り外します。
- ★ 再組立ての際、ハードドライブに沿って搭載されているケーブルは電源ユニットの下に収納してください。ハードドライブを適切に固定することができます。またケーブルがあるとアンテナのネジ穴が揃わなくなります。

## 手順 20



- シルバーメタル製のAC-Inソケット金属リテーナーをアウターケース側面から引き出し、miniから取り出します。
- ☑ 再組立て中、シルバークリップがACコネクター下部のエッジの両側を挟むことに注意してください。クリップを入れた際に突き当りますがカチッとハマることはありません。クリップが容易に動かなければ、正しく入ったことが分かります。

## 手順 21



- AC-Inコネクターを90度反時計回りに回します。





## 手順 26



- グロメットをブラケットの内側から押し込みながら、ブラケットの側面にある穴にはめ込みます。
- 3枚目の写真のように、グロメットがブラケットにしっかりと嵌まっていることを確認してください。
- 残り3つのグロメットについても、ブラケットの両側に対して同じ手順を行います。

## 手順 27



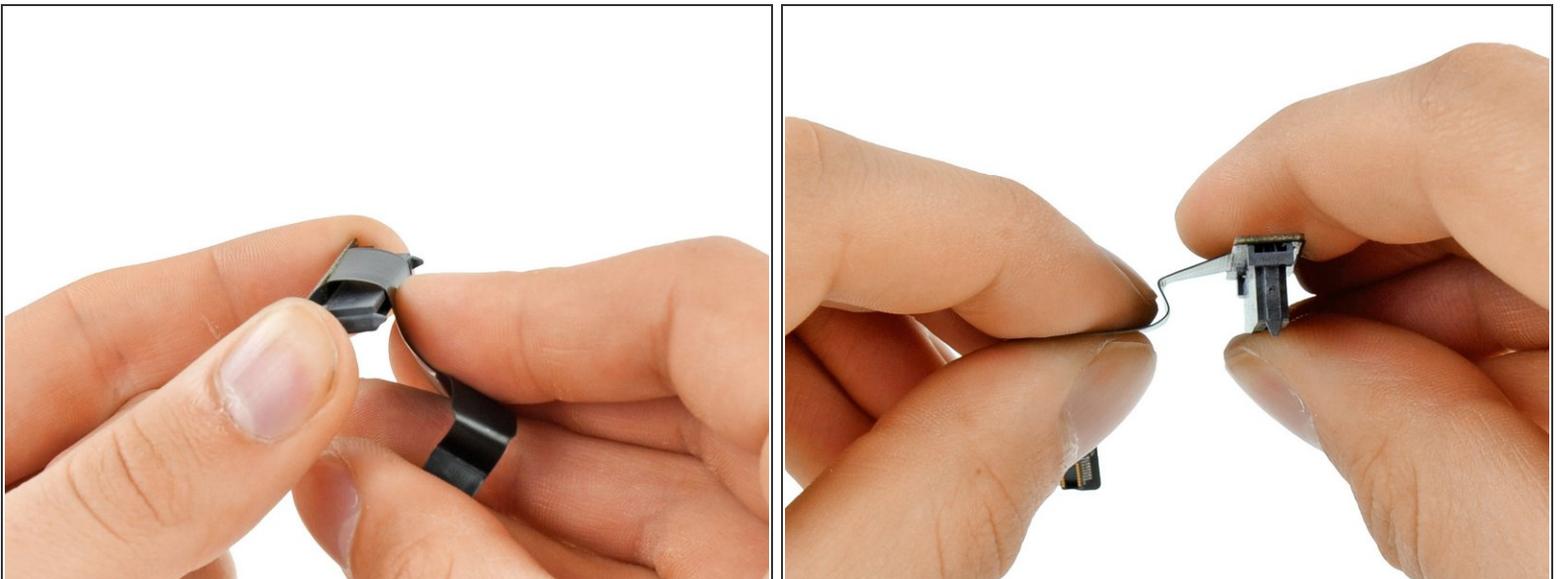
- 4つのグロメットすべてを取り付けたブラケットは、この写真のようになります。

## 手順 28



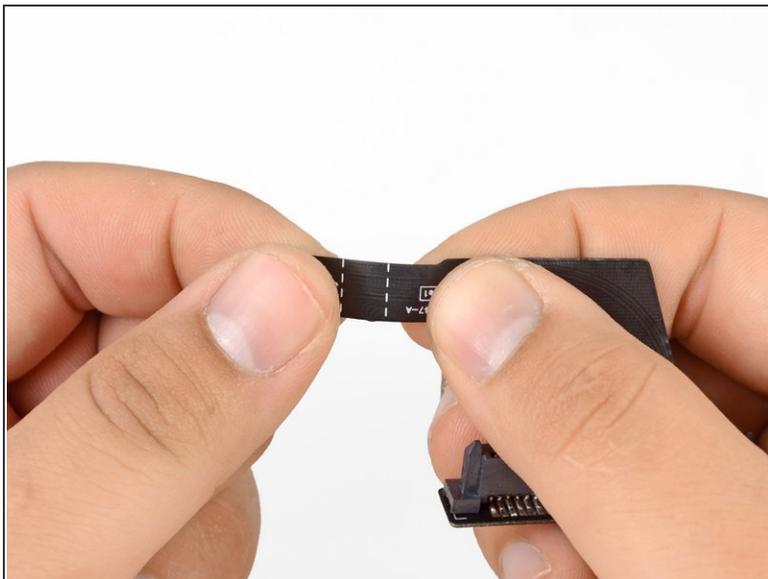
- リボンケーブルを点線に沿って折り曲げて、コネクタがソケットから外れにくくします。
- SSDコネクタのところでリボンケーブルを90°折り曲げて、コネクタと平行になるようにします。

## 手順 29



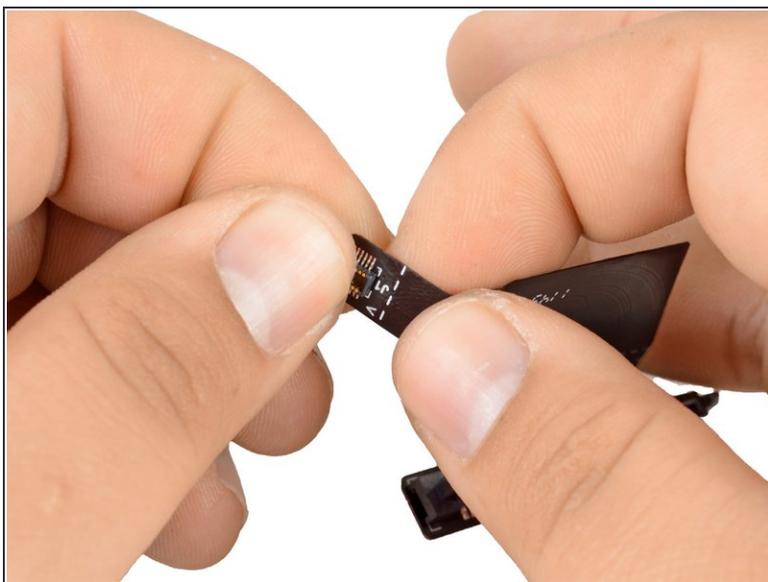
- SSDコネクタの端を使用して、最初の大きな点線に沿ってケーブルを下方方向に90°折り曲げます。
- 2番目の大きな点線に沿って、リボンケーブルを上方向に90°折り返します。

## 手順 30



- 最初の小さな点線の部分でリボンケーブルの両側を保持し、上方向に90°折り曲げます。

## 手順 31



- 2番目の小さい点線に沿って、リボンケーブルを下方向に90°折り曲げます。

## 手順 32



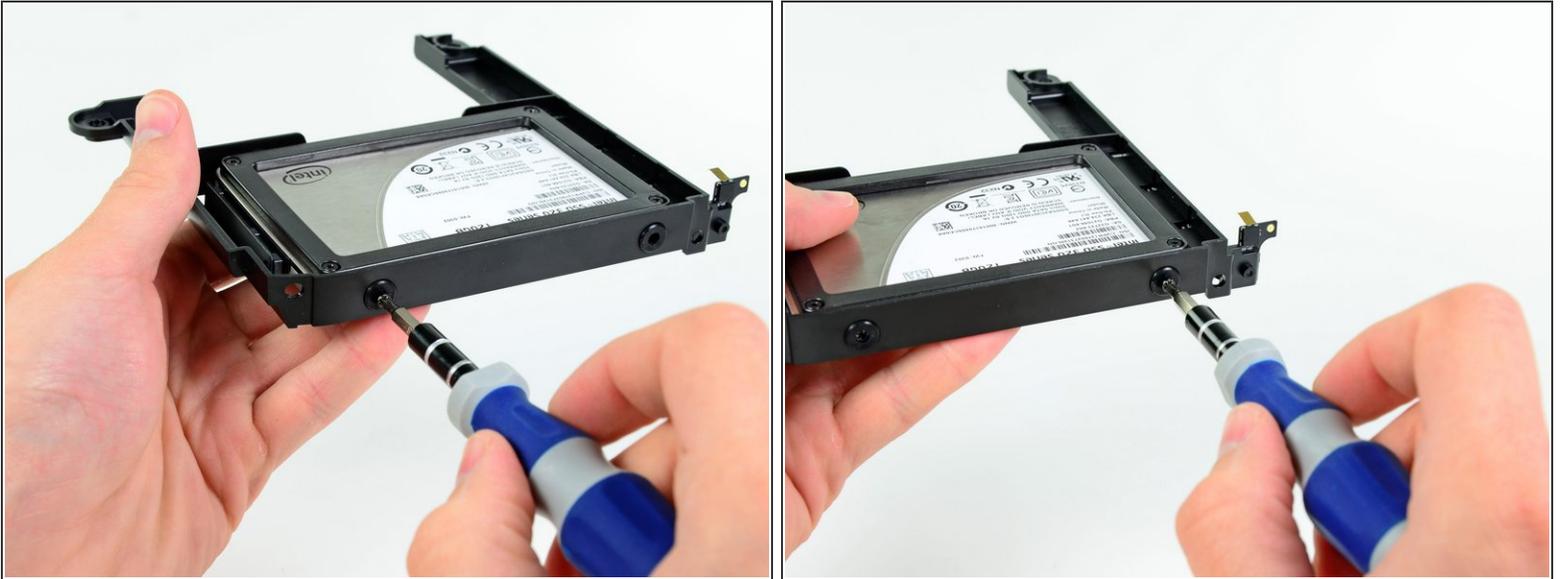
- キットに付属しているケーブルを2番目のハードドライブに接続します。当サイトの場合ではSSDを使用しています。

- ① ケーブルに角が丸くなった小さな黒いテープ片がついている場合は、これをハードドライブケーブルコネクタの上に取り付けて、コネクタをハードドライブのソケットに固定することができます。このテープ片は必須ではなく、取り付けなくてもマシンのパフォーマンスに悪影響が現れることはありません。

- ⚠ ケーブルをハードドライブに取り付ける前に、白い点線に沿って正しく折り曲げられていることを確認してください。これにより、ケーブルが正しい位置からずれにくくなります。



## 手順 35



- T6トルクスドライバーを使用して、残り2本の固定ネジをグロメット越しにハードドライブの側面に取り付けます。

## 手順 36



- 2番目のハードドライブアセンブリをアウターケースに取り付けます。
  - 2番目の写真のように、取り付け穴の位置と、アウターケースのねじ山が切られた穴の位置がずれていないことを確認します。
  - ロジックボードを取り付ける際は、単純に2番目のハードドライブケーブルをロジックボードの空きソケットに接続します。
- ⓘ 2番目のハードドライブケーブルは、2つのハードドライブの間に挟まれる形で収まります。2番目のハードドライブケーブルを1番目のものの上に配置すると、アンテナプレートが元通りに取り付けられず、ケーブルが損傷することがあります。

